

地域ネットワークニュース

～平成26年10月の勉強会のお知らせ & 9月の勉強会報告～

第201回 地域ネットワーク勉強会

精神障害者の地域生活支援を考える ～「神栖市で生活したい！」この希望にどう応えるか～

講師：横山基樹 氏（精神保健福祉士）

【いなしきハートフルセンター・さぽーとハウスけやき 施設長】

10月27日(月)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料

平成16年9月に発表された「精神保健医療福祉の改革ビジョン」において“入院医療から地域生活中心へ”という方策が示されてから、早10年が経過しました。その間、平成24年4月には障害者自立支援法（現：障害者総合支援法）の改正を受け、障害者の地域移行支援・地域定着支援が本格的に実施されるようになるなど、精神障害者の退院促進・地域生活支援の充実に向けた取り組みがより一層注目されるようになりました。

しかし一方で、長期入院者への退院の動機付けの困難さ・社会資源の少なさ・地域単位の支援者の人材不足など、地域移行支援が十分に発揮できない多くの課題が浮き彫りになっている現状があります。

そこで、今回の勉強会では、いなしきハートフルセンターの横山氏をお招きし、精神障害者支援の実際の関わりから見えてきた地域生活支援の現状と課題を踏まえて、益々、重要視される相談支援事業等を含めた各支援機関と医療機関との連携のあり方、生活訓練施設等地域の社会資源の活用の仕方などを情報提供頂きます。

行政や医療機関、施設などの支援者の方々が精神障害者への支援を真剣に考える時期を迎えています。ぜひご参加頂き、今一度精神障害者支援について一緒に考えてみませんか。



お問い合わせ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第200回 地域ネットワーク勉強会報告 平成26年9月25日開催 発達障害のある子...こんな時どうする!?! <参加者98名>

～SPELLの原則から支援を見直そう～

講師：菊池春樹 氏（精神保健福祉士）

東京成徳大学 応用心理学部 臨床心理学科 助教

発達障害のある子への支援や、支援の背景にある考え方は、すべての子どもの保育や子育てのヒントになります。集団に適応する、集団の輪を乱さないことは、大事な目標になりますが、一方で「この子がこの集団でどう成長していくのか」、「この子がこの集団の成長にどう影響していくのか」といった大きな視点で子ども集団を見直してみると、発達障害のある／なしにかかわらず、子どもに寄り添った、信頼や充実感のある時間を持つことができます。

『発達障害とは、その共有できる世界の発達に極端な遅れやズレがあるということ。発達障害との出会いを通して、世界のあたりまえをじっくり考えるようになり、そして誰にとっても過ごしやすい世界を考えるようになった。何かを犠牲にしたり、誰か1人だけが頑張るのではなく、ちよつとずつの工夫で一人ひとりの子どもたちにちょうど良い、過ごしやすい環境を作っていきたい。』と菊池先生は考えています。